

議 会 報

ふっさ

No. 27

昭和51年 4月20日
福生市議会事務局
☎ 0425-51-1511(代)



4月 は 入 園 や 入 学 の 季 節

市立保育園(2園)にも新しく46人が、小さい胸に喜びをかかえて
入園しました。すぐにお友だちもたくさんできることでしょう。

—写真はすみれ保育園の入園式—

予算特別委員会

昭和五十一年度福生市一般会計予算は前年度に引き続く厳しい経済不況の影響により、対前年度比〇・九%増の六十四億四百一十千円となっていますが、この中には、仮称市民会館や学習等供用施設建設費、小中学校の増設費などが計上されています。

この予算審査に当たって、本会議二日目の十二

日、理事者から説明を受け、活発な質疑応答の後、二十二名で構成する「昭和五十一年度福生市一般会計予算審査特別委員会」を設け、委員長末次性男、副委員長小堺仁七のもとで、十五日、十六日の二日間にわたって詳細な審査が行われました。

最終日に、委員会審査における経過と結果が委員長から報告され、起立採決の結果賛成多数をもって、原案どおり可決されました。

五十一年度の財政内容

福祉予算は二一%増

第1回 定例会

ことし初めての定例会が三月十一日から二十六日まで十六日間にわたって開かれました。

この定例会は、五十一年度の当初予算を審議する大切な議会で、十一日は、まず市長の施政方針演説がありました。続いて五名の議員が財政や教育等の問題について一般質問をくりひろげた後、五十一年度当初予算（総額六十四億四千万一千円）など、市長から提出された二十三件の議案審議に入り、うち五件を消化して午後四時五十三分に延会しました。

翌十二日には、残された十九件のほか、新しく出された請願、陳情三件と請願の審査報告一件及び条例一件を日程にして審議を進めました。このうち五十一年度当初予算は二十二名の構成による予算特別委

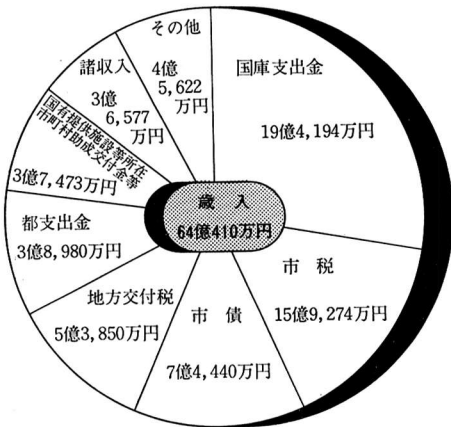
員会を設置して審査することを決めた後、十三日から二十五日までを委員会審査等のために休会とし、午後四時二十分に散会しました。

最終日の二十六日には、休会中委員会で審査した結果の報告が委員長からあり、そのうち国民健康保険料の値上げ条例と予算、五十一年度当初予算は起立採決の結果賛成多数で可決、又、保育料値上げ反対の請願を賛成少数で不採択とし、そのほかは委員長報告どおり可決、採択しました。又、新しく提出された市長提出の五十年度和五十一年度の補正予算二件、人事案二件、福生駅自由通路の契約案一件を可決、同意し、さらに議員から提出された決議案を賛成多数で可決し、午後四時五分に第一回定例会を閉会しました。

審議日程

3月	11日	本会議―市長の施政方針・一般質問 議案審議
	12日	本会議―議案審議
	15日	予算特別委員会
	16日	予算特別委員会
	17日	厚生委員会
	18日	建設委員会
	19日	総務委員会
	23日	議会運営委員会
	26日	本会議―委員長報告・議案審議

一般会計予算の内訳



用語の

ミニ解説



▽予算 一定の期間（四月一日から翌年三月三十一日）まで会計年度といっている。なお、収入と支出の見積りのことで、市の財政ははっきりさせるため、一般会計と特別会計とがあり、又、四月一日までに予算が議決されないときは、短期間の暫定予算があります。

会計年度の開始前（二十日前まで）に議会に出されるのを当初予算又は本予算といふ。年度途中で予算に変更や追加などする必要があるときは、補正予算が出されます。福生市では五十年度に八回補正されました。

予算の発案は市長だけができ、議会は出された予算を減額や増額（修正）して議決できます。

▽委員会 本会議の下審査的な機関として、当市議会には条例で各八人ずつで構成している総務、建設、厚生などの常任委員会があり、議員は必ずどれかの委員会に所属し

質 疑

〈歳 入〉

証明手数料等値上げ
いずれかの議会に

質疑 各市で手数料や使用料の値上げが予想されているが、当市はどうか。

助役 事務手数料を各市が四月から値上げするようであり、できればいずれかの議会に提案するよう準備したい。

質疑 九市の収益事業収入(競輪収入)が減っているが、原因は何か。

秘書職員課長 五十一年度では一市一億三千万円程度と見込んだが、売り上げも横ばいであり、人

一般会計当初予算額の推移

年度	当初予算額	人口	1人あたり 予算額
46	1,383,490千円	38,579人	35,864円
47	1,912,133	40,293	47,456
48	3,259,157	41,886	77,810
49	4,320,251	43,246	99,899
50	6,344,856	45,613	139,102
51	6,404,101	46,412	137,984

件費等の高とうから収益は年々下がっている。

質疑 繰越金三千万円は予算上やりくりしたのか。

企画財政課長 予算の執行は最高でも九九%程度であり、執行残もある。この三千万円は確保できる。

質疑 たばこの値上げで一本当たりの単価も上がったと思うが、たばこ消費税収入はどうか。

税務課長 単価決定は、前年の二月から翌年一月まで全国で販売された平均単価が、五十年年度では四円四十三銭七厘であったが、予算編成時ではまだ不明である。過去の実績を見て四円五十四銭二厘として計上した。

質疑 横田基地施設を日本人と同じように課税するとどのくらい額になるか。

税務課長 五十年年度税制で課税すると、土地九億六千六百万円、建物四千二百七十万円、工作物四千七百万円程度となる。

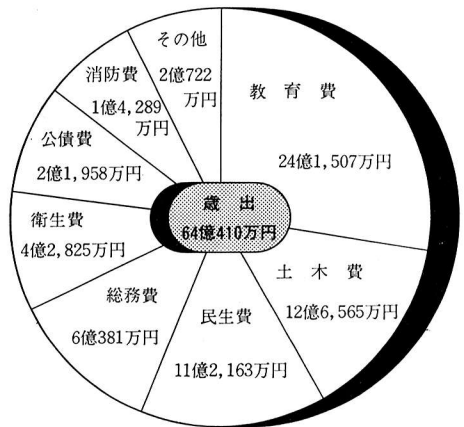
質疑 児童措置費の負担金が五十年年度よりふえた理由は何か。

福祉事務所長 保育料の関係で今後の所得の伸び、保育料改定分三百万円、東福保育園の改築等から増額となった。

質疑 基地関係予算について説明願いたい。

企画財政課長 基地周辺整備事業の国予算は二%増となっている。仮称市民会館の補助もかなり

昭和51年度



〈歳 出〉

定時チャイムは

あり、事務的にも継続事業として足がかりをつけたい考えである。調整交付金の国予算は六六・七%増であるが、五十一年度分も国の伸び以上に獲得したい。

施設状況を見ながら

起債もふえた

財政上は大丈夫か

質疑 自主財源が乏しく、今後の財政需要の増大等から起債の償還も大変だと思うがどうか。

市長 起債償還は経常経費財源の九%程度であり健全といえる。補助事業も市の持ち出しの少ない事業を進めていきたい。又自由に使える調整交付金の国予算がふえるよう運動していきたい。

質疑 納期前納付報奨金として払っているのはどのくらいか。

税務課長 市民税では、五万円

なければならぬことになっていきます。

本会議で上程された案件が委員会でも専門的に慎重審査する必要があるものは、委員会が付託を受け、その審査結果が本会議で報告されて、最終結論(可決、採択、同意、認定等)が出されますが、結論が出なかったものは次の本会議まで継続されます。最近では本会議より委員会が重要視され、活発に開かれています。市民の方が傍聴するときは、委員長の許可でできます。

このほかに一つの事件を審査や調査するための特別委員会があり、いままでに当初予算、決算などの審査や、現在は横田基地対策特別委員会や仮称市民会館及び公民館建設特別委員会をつくらせて調査しています。

▽意見書・決議案 地方公共団体の公益性に関する事件について、関係行政庁に意見書を提出することができるように法律でうたわれています。これ以外のものでは、議会の意思決定として決議案がありますが、これは法律にはうたわれていないので、関係行政庁に出しても拘束されません。

以下が約八十二万八千円、五万円以上が約七十万五千円、固定資産税では、五万円以下が約百八十二万三千円、五万円以上が約百五十六万九千円、市民税と固定資産税を合計すると、五万円以下が二百六十五万一千円、五万円以上が二百二十七万四千円、計四百九十二万五千円が報奨金として支払った額である。

質疑 市長の施政方針演説でも福祉施策を進めるといつているが予算からはうかがえない。

市長 将来の環境づくりの事業をしつとも、最大限重視し、予算も前年に比べ民生費は二一％の伸びである。

質疑 生活資金貸付の状況と制度化について聞きたい。

福祉事務所長 三月十日現在、三百四十万五千円の五十三件貸付けし、うち滞納が五十五万九千円の三十件となっているが、やむを得ない事情もある。制度化は今後検討したい。

応ずるのは困難

ごみ穴賠償

質疑 最近のごみ穴についてどう考えているか。

市長 羽村、瑞穂両町からも賠償要求が出されているが、当市はその穴を使っておらず、応ずるのは困難である。当市で確保しているさつき園(不燃物穴)は、三分の一度埋まっているが、今後二

年ぐらい使えると思う。

質疑 じん芥収集業者から値上げを要求されているようだがどうか。

環境保全課長 値上げ要求されしており、他市の委託料は月八十万円前後で週三回収集、当市と秋川



賛成多数で予算可決 一特別委員会の採決一

明確でなく、はっきりしたら補正したい。苗木育成は、二年で一万六千本のツツジとモクセイを依頼しているが、公園もふえたので常緑樹も育成していきたい。

質疑 商工会への補助が減となったが、振興対策からどう考えるか。

市長 市として直接指導はできないので、商工会にお願いする以外にない。

そのため商工会への補助はそれ相当にしてもよいと思う。

経済課長 五十一年度の人件費は補助対象分は一千四百九十五万円、うち都から百四十三万円、残り五百五十二万五千円を市が助成、事業分は前年どおり三十三万円を計上した。

質疑 家庭菜園の募集について聞きたい。

経済課長 現在七百二十八区画あり、今後四カ所予定し、二月の公募では一・六倍の応募があった。市全域で一千五百区画程度設置できるよう努力したい。

質疑 コミュニティー施設は将来何館くらいつくるのか。

企画財政課長 七つの小学校区ごとに建設したい考えであるが、三小学区は福祉会館、七小学区は体育館があり、学校区ごとにはならないと思う。今年加美地区にできたコミュニティー施設は図書館を主体としたもので、同じものを熊川地区につくりたい。そのほか児童館、老人福祉、集会施設など主体としたものを幾つかに分けてつくる考えである。本年度は本町地区と熊川地区に予定している。

討 論

反 対

不況により市民生活が脅かされている中で、保育料、国民健康保険料、軽自動車税の値上げが予定されている反面、米軍に対する軽自動車税は従来どおりである。又老人福祉手当、障害児手当の据え置きや生活保護家庭に対する市独自の予算が据え置かれ、普通建設事業の市持ち出しも六億円の巨額になっている。

その理由として市長は、都市施設の整備が未来の発展を意義づける最も有効な財源効力のあり方だと述べているが、現在都市施設が不備なことは、市長が過去三期を通じて都市施設整備を図らなかつたためだと思う。

さらに市長は財源危機の根本原因を明らかにし、政府にその解決を要望する運動を起こすことなく市民に負担を転嫁している。よって本予算に反対するものである。

賛 成

各自自治体の財政状況は厳しくなっている。まして財政基盤の貧弱な当市において、より良い市民生活の環境整備、教育社会行政面の推進のために努力して六十四億余円の予算を計上できたことはまことに喜ばしい限りである。

予算においては、歳入を確保し歳出では市民待望の市民会館や二つの学習等共用施設の建設、又三つの小中学校の増設を盛り込む等現在の財政下においては他市に見られない異色なものがあつた。

その他行財政プロジェクトの活用や本年度の新規職員採用中止、あるいは職員宿泊の伴う出張の削減等、経費の削減の努力のあとがうかがわれる。

又本予算が先に決定を見た基本構想に従い、今後の市の発展に必ず寄与することを確信する。よって本予算に賛成するものである。

市営住宅は 円満解決でいく

質疑 市営住宅の取り壊しが予定どおり進んでいないようだが、現況はどうなっているのか。

庶務課長 現在十六戸が空いており、五十一年度で二戸空くことになっている。

取り壊しが遅れているのは、強硬策はとらず、円満な話し合いで解決したい考えのためである。

一 般 質 問

第1回定例会では
5人の議員が一般
質問を行いました。

基地の迷惑に 国の援助は当然

質問 当市の予算における国からの補助金は、非常に大きな比重を占めており、特に横田基地の関東集約計画によってその特例を受けていると思うが、この関東集約も五十三年度中には完了するといわれており、完了後における国からの補助金も将来にわたって獲得しているのか。又、補助金が少なくなつた場合の不足財源をどこに求める考えか。

市長 横田飛行場がある以上、市民は大変迷惑を受けるので、国が自治体に対してよほどの援助をするのは当然であると思う。新しく防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律もできたが、まだ活用されておらず、ひもつき補助が多いので不満である。そのため同法の九条によるひもつき補助でない金を多く獲得するとともに、この活用で集約後でも補助金獲得はできると思うし、国も当然援助すべきである。仮称市民会館建設にも多額の補助がついたことは、集約問題も含んでいると思われ。

企画財政課長 当市の財政状態を公債比率で見ると、自治省では二〇％を超えると赤字団体と見ているが、五十一年度の起債が終了した時点で、九一・〇％程度であれば心配ないと思う。

健全財政維持のため 支出も極力抑制

質問 不況とインフレにより地方財政にも危機が迫り、この乗り切りをどうするか問われている現在、各種の料金値上げ等住民に負担をかけることは許さない。当市も自主財源確保の一つとして法人市民税の超過課税が実施されることとなつたが、今後現行制度のもとで自主財源確保等のためどう取り組もうとしているのか。

税務課長 税関係からすると、法人市民税の均等割分の超過課税については昨年標準税率に改正したばかりであり、本年は改める考えはない。個人市民税の所得割分の超過課税において、一部高額所得者に対しさらに税率を高めることは、自治省や都の指導から適当でないといわれており、かつ、大衆課税につながる問題であるため、一

第1回定例会を 傍聴された市民の方々

(敬称略)

- 古谷 一
- 林田 武
- 佐藤 三郎
- 木下 三郎
- 原田 歌子
- 土屋フミイ
- 金沢トシ子
- 佐久間登世子



- 小林 真一
- 塚原 学
- 桜井 厚
- 高橋 茂夫
- 宮 武志
- 高橋 莞子
- 長野 真美
- 市川 優子
- 福根由紀子
- 徳田志津子

市だけでやる考えには消極的である。軽自動車税の超過課税については今国会に法律改正案が出されているが、その中で二〇％の範囲内で超過課税ができるようになっていたが、当面標準税率でいきいたては、資産を利用して利益を上げる事業用資産の税率を上げたらどうかという考えもあるが、事業用資産にも個人のものもあり法人分だけ上げるのは適当でないとの指導もあり、個人資産についても差がついていることから、現行制度でいきたい。

市行政のすべては 福祉である

質問 経済の高度成長時代から一転して低成長時代へと流れが変わり、いままでとられてきた福祉政策も再検討する時期にきたといわれている。現在の福祉を堅持、推進するための財源確保を図らなければならぬと思うが、福祉政策の基本的な考え方を聞きたい。

市長 福祉とは、市民全体に及ぼすもので市行政そのものが福祉であり、行政の調和であると思う。そのため高福祉をすれば多少の負担増は否めない。弱者救済といってもその対象とする判別がむずかしく、真に困っているなら十分に手を差し伸べなければならぬ

企画財政課長 昨年から行財政プロジェクトチームを編成し、五十一年度予算編成を目的に検討してきたが、その結果、五十一年度当初予算では物件費も前年度より二千三百万円節減し、人件費対策として増員をしないとか、各種の補助金等も前年度より一千五百万円を削減している。



と思う。又、福祉を進める上で必要なのは、指導者の養成と、各市民が第二の故郷をつくるんだという意欲を持っていただくことが大切だと思う。

助役 福祉問題は国全体の問題となっており、地方財政悪化から政府も地方交付税の増額をするようである。福祉の充実しているヨーロッパ諸国と日本を見た場合、日本の国民は個人所得の二〇％を貯蓄し、税金や保険料は一二％、ヨーロッパ諸国は貯蓄は七％で、税金や保険料は二五％を納めている点が大きく違っており、税の負担からすると、ヨーロッパ諸国は高福祉高負担型となっている。

わが国の福祉も大きな転換期にあり、高福祉高負担でやっていくかどうかむずかしい現状である。



すみれ保育園の庭

値上げではない

格差是正だ

— 保育料金 —

質問 ①今回の保育料金の値上げは、国の基準を変えさせない限り根本的解決にはならない。又、関係者の意見は十分聞かないで、父母にしわ寄せする値上げは許せないと思う。十二月議会で市長は公聴会を開くと約束したが、その点どう考えるか。

②市立保育園は、施設や内容でも私立の見本となるようにしなければならぬ。特にすみれ保育園は、他の施設と同じ敷地内にあり園庭も狭いが、改善の考えを聞き

たい。

市長 ①今回の保育料改定は、低所得者層には減額なり据え置きし、所得の多い方からより多くいただく、いわゆる格差是正ということである。そのために保育料の専門委員会の意見を聞き、広聴会は開かなかつたわけである。なお、総体的な値上げをする場合には聞く考えである。

福祉事務所長 ①各市でも保育料については検討されており、当市もプロジェクトチームで検討した。低所得者層は引き下げか、据え置きとし、できるだけ高所得者から応分の負担をしていただくため、所得税額による階層を現行より四階層ふやし、最高料金を一万

一千円から一万六千九百円までにした。専門委員の意見も全体のバランス調整であるということを決定したわけである。

②すみれ保育園の敷地内に、昭和三十四年当時から八町内の児童会館として建物があり、当時同地区への保育園設置の請願が採択され、すみれ保育園ができたわけである。この敷地全体では一千七十一平方メートル、そのうち保育園の建物として二百五十七平方メートル、児童会館が百九平方メートル、残り七百五十五平方メートル、約二百十三坪の空地があり、有効庭園面積としては百八十坪程度はある。保育園の基準庭園は一人一坪なので、定員八十人からすると十分だと思ふ。ただ形として難点があるが、周囲の状況から拡張は困難であり、今後事故等のないよう使用していきたい。

移転改・新築の

貸付制度は研究する

質問 当市は昭和三十八年から本格的な都市計画事業をやってきたが、そうした市の計画によって家屋を移転しなければならなくなり、法的には移築ではあつても、関係住民は新築を余儀なくされている。そのため市中金融機関から借り入れして築造しているが、今後東口開発もあり、こうした市の計画で移転しなければならぬ人が

住宅 多くの住宅資金貸付制度を設置する考えがあるか。
都市計画課長 個人的な融資は現在東京都の住宅建設資金融資制度の活用がある。これは公共事業等で移転せざるを得ない場合、優先的に融資が受けられる制度であるが、区画整理事業の場合、原則的には補償範囲で新築する例が多い。今後研究していきたい。

傍聴を聴

しましろう

次の定例会は

6月に開かれます

西口商店街の改造

いつかはやらなければ

質問 福生駅を中心とした各商業会も、大型スーパーの出店や近隣市町の発展に不安の影が落ち始めたとして、四十五年の商業診断で当市の商業について触れているが、市としての措置はどうであ

議 会 日 誌

1月	5日	仕事始め
12月	12日	新九市議長会
19日	厚生委員会	
20日	議会報編集会議	
22日	仮称市民会館及び公民館建設特別委員会	
23日	建設委員会	
26日	福生市都市計画審議会	
27日	総務委員会	
30日	第一回臨時会、全員協議会、横田基地対策特別委員会	
2月	2日	福生市国民健康保険運営協議会、全国議長会社会
3日	文教委員会	
5日	福生市基本構想審査特別委員会	
9日	三多摩上下水(第二委員会)、福生市国民健康保険運営協議会	
16日	仮称市民会館及び公民館建設特別委員会行政視察(10日まで)	
17日	議員研修会	
18日	議員研修会	
19日	水(第二委員会)、厚生委員会協議会	
20日	全国基地協議会総会	
	議会運営委員会	
	横田基地対策特別委員会	

たのか。又、四十六年には福生駅周辺商店街再開発の診断がなされたが、市として指導的立場からどのように考えているのか。さらに、西口から発着するバス路線も東口にターミナルができるかと客足は東口に流れることになるが、市としてどう対処する考えか。

市長 過去二回商業診断をやったが、市行政として個々の商店等に対して直接指導はできないので商工会でやっていただくほかはない。そのため商工会を充実していきたいと思う。

仮に西口が都市改造となれば大変な変化であり、関係者の決心は容易でないと思われ、相当時間もかかる。反面商店街は都市機能の一つとして、いつかはやらせていただかなければならないと思う。しかし商工業者に盛り上がりがないと取り組めないで、そうした気運が出るよう商業診断をしたわけである。幸い最近関係者の関心も高まってきて、至急に研究会等をつくっていく必要があると思う。

なお、バス路線が将来東口に集中するような場合には、住民の要望に沿えるよう運動していきたい。

経済課長 商業診断は現実の商業を認識して将来像を見きわめていくことにあるが、診断の中で問題となった点について、各商業会の組織、機能強化のための助成、

共同施設の整備、商工会の財政基盤強化、経営指導員の増員等を行ってきた。

消費者が安心して買物ができるよう、四十九年から日曜日ごとに歩行者天国を実施してきたが、将来西口の交通量等につき、地元と十分協議していきたい。

東口・西口の商業対策として、東口開発や東西連絡路により、今後福生駅中心の商業ゾーンとなり広域商店街としての整備が必要と思うが、これに先がけて福生駅周辺の商業診断を実施していきたい。

助役 基地前商業会の診断は、わらつけ街道に商店を移し、世界各国の飲食物から車のアクセサリまで買えるようにしたらどうか、

牛浜商業会は、東口にゲタバき住宅を建設し、一階を商店とする。又バス路線の開発や八高線の牛浜駅新設等も出されたが、この診断は各商店街に一つの示唆を与えたわけで、市も行政面から援助していきたい。



共有私道は 税を減免している

質問 横田基地への関東集約により、外国人は基地内に移住し、そのあとのハウスは一般住民の住

94カ所余りある私有道路



宅に変わってきた。こうした人が利用する私道については、市長も前向きに検討し、担当委員会と協議していきたいと述べているが、生活道路として利用している以上は税の減免も考えるべきである。

税務課長 対象道路はいろいろあり、公道から公道に通ずる道路、分譲住宅内の共有道路、袋路でも不特定多数が共有する道路等は、申請があれば減免規定もあるので活用願いたいと思う。

P T A の要望書 検討はしている

質問 ①当市の教育費を予算上から見ると二・一・二で、その意欲はうかがえるが、毎年市立小中学校 P T A 連合会から、学校施設の改善や備品等について要望書が出されており、教育委員会としてどのように受けとめているのか。

②教育効果の向上を図るための教職員資質向上施策及び教職員の人事行政をどのように行っているのか。

教育長 ①毎年出される要望書には、全体としての事項や各学校の要望事項があり、教育委員会でも検討している。

②昨年の例では、校舎破損の修理は予算の範囲でやっており、増築については四小、六小を実施しているが、五小の特別教室は児童数

宅に変わってきた。こうした人が利用する私道については、市長も前向きに検討し、担当委員会と協議していきたいと述べているが、生活道路として利用している以上は税の減免も考えるべきである。

31日	狭山火葬場組合議会
30日	建設特別委員会
29日	西多摩衛生組合議会
29日	福生伝染病院組合議会
29日	全員協議会
26日	第一回定例会(第三日目)
23日	議会運営委員会
23日	議定委員会
18日	総務委員会
17日	厚生委員会
17日	建設委員会
16日	昭和五十一年度福生市一般会計予算審査特別委員会
16日	昭和五十一年度福生市一般会計予算審査特別委員会
15日	昭和五十一年度福生市一般会計予算審査特別委員会
12日	第一回定例会(第二日目)
11日	第一回定例会(第一日目)
9日	総務委員会
8日	西多摩農業共済事務組合議会
6日	福生市青少年問題協議会
6日	市下水路組合議会
5日	青梅・羽村・福生地区都議会運営委員会
2日	東京都市収益事業組合議会
3月	都議会議定例会
26日	厚生委員会協議会
25日	第二回臨時会、全員協議会、総務委員会協議会、議定委員会協議会
25日	陳情、西多摩衛生組合議会行政視察(22日まで)

が伸びていないので、国の基準に達したら全体計画の中やっていきたい。そのほか校庭の散水機や通路整備も年次計画により実施している。今後も予算との関係を見ながら一層努力していきたい。

教委庶務課長 ④五十年度における要望書の経費見積りとして、校舎被損はその都度修理し、通路舗装が五校分で約七百五十万円、暖房機取りかえが四校分の約七千六百万円、プールの循環装置が五校分の約四千二百三十万円、テレビのカラー化等で五校分の約三千万円、合計で約一億五千六百万円となっている。

教育長 ②新任教員研修とか学校運営研修も校長や教頭を対象に毎月一回開き、そのほか学年学区研修会や教務研究会等の研修を通じて、資質向上に努めている。又個人の思想や信条は憲法で保障されているが、教育は特に中正の立

▷人権擁護委員の

推せんが決定◁

人権擁護委員3人のうち、2人が3月31日をもって任期満了となるために、再び両氏を法務大臣に推せんすることが決定しました。

○ 田中政一氏

福生市本町107

○ 榎本令秀氏

福生市福生507

場でやってほしいと学校側には申しあげている。

教員の採用は、法によって、給与等を支給する都道府県の教育委員会に任命権があり、市町村にはない。したがって東京都で採用し市に配置されてくるが、市に新設させる場合には、本人に面接し、通勤や住居等を考えて配置するようになっている。

非行化防止には

家庭のしつけが大切



質問 ①当市の社会環境を見ると、特に社会教育に力を入れなければならない課題があると思うが市として青少年の非行化防止についてどう対処していくのか。

②父母負担解消のために、観劇等の補助、教材用具の補助範囲拡大についてお聞きしたい。

教育長 ①青少年の非行化防止に一番大切なのは家庭におけるしつけである。教育行政として指導しても各家庭内までは不可能である。又、現在社会情勢の変化から、非行化を促すものが大変多い。教育委員会としては社会教育面と社会体育面から、青少年全体を対象に健全育成を図っており、さらに青少年問題協議会の地区委員会も再三開き、具体策について検討している。

眼科医は一カ所だけ

誘致に力を入れる

質問 当市の眼科は福生病院にあるだけであり、この受付時間も午前中に限られ、一般のサラリーマンや学生は受診しにくいために近隣の市町に通院している現状である。市民の健康と文化的な生活ができるように、眼科医を誘致すべきと思うがどうか。

市長 私自身も近隣市町に通院したこともあり、痛切に感じている。市とすると、他市町の眼科医に福生に来ていただくようにPRする以外にないが、福生病院や医師会にもお願いしてみたい。
環境保全課長 西多摩地区の眼科は六カ所と少なく誘致も困難だ

②父母負担の解消はすすんでいることになってきているが、補助教材関係は、新入生には算数セットやハーマニカ等を支給、二年生以上には一人八百円、中学生には一千元を市から負担している。観劇等の公費負担は、市内小中学校で観劇等を実施している学校、していない学校があり、全体のバランスもあるので今後検討していきたい。



が、今後も医師会側と十分相談していきたい。

空地の管理対策

所有者を指導する

質問 市内には未耕作畑や整地されていない空地が点在し、付近住民は迷惑しており、雑草がおい茂ると青少年の非行の温床にもなる。このような空地についてどう考えているか。

環境保全課長 空地管理について防犯、防災上から広報でPRし、所有者にも文書で指導している。そのほか草刈り機三台を常に備えて無料で貸し出しているが、今後も積極的に取り組んでいきたい。

今後の公園計画は

総合計画で検討

質問 市内各所に公園や児童遊園地が設置されてきたが、現在の数では利用できない地域も多いが今後の公園計画についてお聞きしたい。

都市計画課長 具体的計画は持っていないが、基準としては、小学校単位に四カ所程度の割合で児童公園を設置していきたい。又、比較的公園の少ない東部地区については、公営住宅の高層化により公共空地を生み出し、これを利用していく等、総合計画作成の中で検討していきたいと思う。

補助がなくても

続けていきたい

一緑のおばさん一

質問 現在、緑のおばさんに対して都から補助がきているが、勤務をやめるとその補助も打ち切られるわけで、今後交通安全対策上から専門の交通指導員を配置する必要があると思うがどうか。

教育長 現在学童擁護委員の緑のおばさんが三カ所で実施しているが、仮に退職された場合も、交通安全施設のない所は継続していきたいという考えで検討したい。又、交通安全指導員についても市理事者側と相談していきたい。



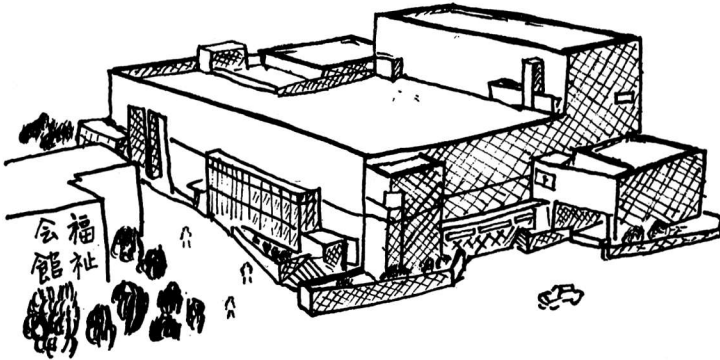
第 1 回
1 月 30 日

この臨時会には、一億九千八十一万円を減額補正し、総額六十八億一千七百五十八万二千円と定める仮称市民会館建設費関係を主体とした一般会計補正予算(第五号)と、田園地区の下水排水の工事を行うため、五小から内出十字路までの三百四十三メートルに八百ミリの管を埋設する公共下水道管理設工事契約の二件が市長から提出され、予算を可決、契約を同意しました。

又請願二件の審査報告があり、「交通安全推進委員への被服支給」は採択、「保育ママさん制度の実施」は不採択と決定し、午前十一時七分に閉会しました。

なお、旧市民会館を壊して新し

くつくられる仮称市民会館については、国の補助金の関係で、一般会計補正予算(第五号)から「学習等供用施設等」と名称が変更されました。この施設には、客席一千二百席を有する大ホールとしての特別集会施設をはじめ、コミュニティ施設、公民館施設、老人福祉施設など多目的施設として、地下一階、地上四階(一部)、建



仮称市民会館完成予想図

築面積六千七百七十一平方メートルを建設しようとするもので、総事業費は十六億三千二百四十二万五千円。このうち五十年で四億六千七百万円を消化し、残りを五十二年で消化するもので、本会議では、起債が七億三千余万円予定されているが、今後の償還等財政運営上十分慎重に対処してほしいとの意見も出されました。

第 2 回
2 月 25 日

この臨時会には、資本金が一億円、又は法人市民税が四百万円を超えるものの法人税率を「百分の十二・一」から百分の「十四・五」にし、前納報奨金の限度額を「二十五万円」から「五万円」に下げようとする条例改正、第二期工事に着手するための総額五億三千三百三十六万円となる下水道事業会計補正予算、進行中の中央幹線の支線排水路工事契約二件、一月臨時会で予算化された学習等供用施設等(仮称市民会館)の新築工事契約(工期五十二年三月三十一日)の計五件が市長から提出され、それぞれ可決、同意しました。

又「障害児学級の増設」「障害児教育の推進」の請願二件は、現在一小で行っている知能促進のための福原学級と同じものを熊川方面に設けてほしいという共通部分は全会一致で採択し、「障害児教育の推進」中の障害児の入級範囲の拡大の点は、現状では無理であることから二十対二で不採択と決定し、午前十一時三十分閉会しました。

決 議

第一回定例会に、議員四人から決議案が提出され、質疑、討論の後、賛成多数で可決されました。

昭和五十一年度国家予算審議促進に関する決議

五十一年度国家予算は、財政主導、景気浮揚型予算であり、不況克服、雇用安定及び地方財政救済等の面から、国民、地方自治体ともに、その早期成立を待望しているものである。

然るに、いわゆるロッキード問題の影響により、国会の予算審議が大幅に遅れ、暫定予算必至という事態に追い込まれていることは、日本経済、国民生活を危機に陥れるものとして憂慮に堪えない。

よって政府、国会は、ロッキード問題については、徹底的な究明をはかることとし、あわせて予算審議を速やかに軌道にのせ、予算の早期成立をはかり、国民の負託に応えるべきである。



請 願 陳 情

▽採 択

◇請願第六号 障害児学級の増設に関する請願書
熊川 二四二 外八三人
森田 剛氏 昭50・12・12提出

◇請願第七号 中学校における完全給食実施に関する請願書
福生 八七一 外二〇一人
原嶋卓也氏 昭50・12・12提出

◇請願第八号 市立幼稚園建設に関する請願書
熊川 四一一 外五九〇人
二宮 一郎氏 昭50・12・12提出

◇請願第十二号 福生市交通安全推進委員への被服支給に関する請願書
熊川 三四三 外四人
高水惣八氏 昭50・12・25提出

◇請願第一号 国道十六号線側溝改善に関する請願書
福生 二四八七 外九八人
中井金助氏 昭50・12・25提出

▽一部採択・一部不採択

◇請願第十号 障害児教育の推進に関する請願書
志茂 一八八 外一七三六人
高戸正子氏 昭50・12・12提出

▽不 採 択

◇請願第十三号 保育ママさん制度の実施に関する請願書
福生 一五三〇 外九四人
吉田和子氏 昭50・12・25提出

◇請願第二号 保育料の値上げ反対に関する請願書
福生 団地三 一四〇四 外一七八六人
和泉豊子氏 昭51・3・12提出

▽継 続

◇陳情第一号 松生丸事件に関する陳情書
立川市羽衣町三 一七一四 外一五三三人
福田之保氏 昭51・3・12提出

▽取 り 下 げ

◇陳情第八号 田園地区(旧多摩河原区画整理内)農地に関する陳情書
福生 四一九 外一五三三人
村野 弘氏 昭50・12・12提出

請 願 ・ 陳 情 を 出 す に は

請願・陳情は、みなさんの身近な意見、要望を直接市政に反映させる制度です。
議会に提出する場合、次の点に注意してください。

①文書はたて書きにしてください。
②請願には紹介議員が一人以上必要です。

なお、陳情には紹介議員はいりません。
③文体は邦文で要旨を簡単にわかりやすく書いてください。
なお、道路、下水などには略図をつけてください。

④請願者の住所、氏名(法人は所在地、名称と代表者の氏名)を記載し、押印してください。
押印がないと受けつけられません。

⑤部数は一部でけっこうです。
議会が受理した請願は、本会議で所管委員会に付託されて慎重審査を行います。そして、最終日に採択、不採択の決定が本会議でなされます。

採択された請願は市長等に送付して、その実現方を求めます。又請願代表者には、請願審査の結果について通知がいきます。

◎お問い合わせは議会事務局へ
☎ 五一―一五一・内線三二三

(表 紙)

〇〇〇〇に関する請願書
紹介議員
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

(本 文)

要 旨
.....
昭 和 年 月 日
.....
請願者
氏名
福生市議会議長
〇〇〇〇〇殿

あ と が き

三月に開かれるこの定例会は五十一年度予算を審議する議会であり、会期も長く連日熱のこもった審議が続きました。又、今回から議会が使われている用語のミニ解説を設けました。紙面の許す限りのせていきたいと思っております。議会報についてお気づきの点がありましたらお寄せください。

―編集委員―